

第13期 第3回国立市ごみ問題審議会 議事録

日 時 令和4年(2022年)8月31日(水)午後2時15分～午後4時
場 所 国立市役所3階 第1会議室
出席者 山谷会長、山崎副会長、内海委員、北委員、北村委員、楠田委員、田中委員、長嶋委員、
山岸委員(委員は50音順)
事務局 清水ごみ減量課長、豊島清掃係長、河内清掃係主査、新清掃係主任
傍聴者 インターン学生2名

【議事要旨】

1. 国立市循環型社会形成推進基本計画に基づく進捗状況の評価について

資料に基づき、国立市循環型社会形成推進基本計画に基づく進捗状況(2021(令和3)年度実績)の行政による評価の(1)家庭系ごみの減量化・資源化(4)戻す(リターン)について事務局から説明した。

【山谷会長】4)戻す(リターン)の①くにたちカードの利用促進について、今までくにたちカードの利用促進というサブタイトルで評価をしてきましたが、くにたちカードは廃止することとなりました。国立市商工会が主体となり運用されていたかと思います。そのため、まずは商工会の北村委員と消費者団体連絡会の田中委員よりご意見ををお願いします。

【北村委員】くにたちカードの利用者が減少しているという話は聞いたことがあります。また、利用者の方からは、くにたちカードを続けてほしいという廃止を惜しむ声もあるようです。

【田中委員】消費者の立場としては継続してほしいと思います。現在、新規ポイントの付与は無いですが、JRのカードと統合したため便利になりました。

【山谷会長】行政による評価のところで、長くリターンをはじめとする発生抑制の促進に貢献してきたというふうに評価はされています。本制度の廃止は、利用者が減少したということの影響があると思います。また、2020年7月からレジ袋の有料化が義務付けられたことで買い物袋持参の推進がされたことも影響していると思います。

審議会の評価としては、地域に根差した市独自の経済的手法として機能してきたが、レジ袋有料化や社会環境の変化に伴い、くにたちカードがその役割を終えることはやむを得ないというような評価でいかがでしょうか。

【山谷会長】②販売店等での資源回収の促進について、ご意見ををお願いします。

【北委員】本日午前中に環境センターを見学しました。国立市はプラスチック系ごみについて、ほぼ全ての種類を1つの袋でまとめて回収した後、環境センターにて汚いものやプラスチックでない物などの分別が大変だということを見学して感じました。エコショップなどで最初から牛乳パックや食品トレーを細かく分けて回収することが、効率的であり、よりリサイクルに回されるのかなと思います。そのため、エコショップ制度をさらに広げていくということが大切であると思いました。エコシヨッ

プ制度を広めるにあたり、市内の何店舗の内の28店舗なのか、全体店舗数を把握してほしいです。また、現在の28店舗が回収後に、どのようにリサイクルされているかという情報があると良いと思います。

【内海委員】資料の1-1（エコショップの取組項目）について、レジ袋辞退者への特典の付与という項目は、時流に乗らないので削除して良いと思います。コンタクトレンズの空ケースの回収やフードロスの回収等を項目に追加すると良いと思います。項目については継続して検討してほしいです。加えて、市報やインターネットに掲載し、ここに行けばこんなものを回収しているのかと分かるよう広報してほしいです。

【山谷会長】確かに取組項目というのは特定の考えるのではなく、適時見直しを図っていくということが必要です。行政のほうも参考意見として受け止めていただければと思います。

レジ袋の有料化又は廃止という項目について、丸がついていない店舗がありますが、レジ袋の有料化はしているかと思います。

【山岸委員】有料化されています。

【事務局】本資料は、エコショップ登録のある各店舗に対して行ったアンケートについて回答頂いたものです。もしかしたら、レジ袋廃止という意味で丸をしなかったのかなと思います。

【山岸委員】本資料はアップデートしていただいたほう良いと思います。

【山谷会長】この取組状況というのは正しく把握するということが大切です。そのため、お店に御確認いただければと思います。

【山岸委員】エコショップに登録のあるお店はよく利用しますが、エコショップだと思って利用はしていません。お買物をする方々が、エコショップで買物をしているということが分かりやすくなるようなマークにするなどの工夫があれば良いと思います。

【事務局】検討します。

【山谷会長】エコショップであることを分かりやすくするため、マークを大きくすると店舗側が嫌がり、協力してくれないことがあります。そのため、店舗にとってもあまり負担にならないある程度の大きさにする必要があります。大切なのは、マークの意味を知ってもらうことです。エコショップが環境に良い取組をしているということが市民に伝わるよう、広報を強化して周知を徹底していただくことが大事かと思います。

【北委員】エコショップのアンケートの回答率や、現時点のエコショップが全体数に対してどの程度参加しているかという細かいデータはありますか。

【事務局】平成19年頃からごみ減量協力店制度を開始し、令和元年11月からエコショップ制度を開始しました。ごみ減量協力店の中にエコショップが多いかと思います。市内にエコショップとなり得る店舗がどの程度あるのか把握できていません。どのように全体数を調査するのも含め検討できればと思います。

【山岸委員】エコショップに登録のあるお店は、この制度を知ったお店側から登録申請をしてくれるのでしょうか。

【事務局】そうです。基本的にエコショップ制度を導入しているお店は、ごみ袋や粗大ごみ処理券を取り扱っています。これらの取扱申込のタイミングやお店を新規開店する段階で、市からエコショップ制度のご案内をしています。そのため、比較的コンビニが新しく増えることが多いです。

【内海委員】くにたちカードエコロジーポイントの発行という項目は、今もやっているのでしょうか。

【事務局】項目について、削除や追加など検討できればと思います。

【内海委員】項目が細かく設定されていて、扱っているお店が1箇所しかない場合でも、広報されていれば、ここに行けばこれを出せるのかと感じると思います。

【山谷会長】審議会の評価としては、リサイクル品質の向上や国立市が以前からスローガンにしている拡大生産者責任の徹底という観点から、エコショップの利用を促進すべきである。当制度の認知度を向上させ、市民の環境配慮行動につなげてほしいというような評価でいかがでしょうか。

【山谷会長】5)再生利用(リサイクル)①分別の徹底について、ご意見をお願いします。

【北委員】SNSなどの新しい媒体を使うことも大事ですが、市報やホームページ等の既存媒体の中でももう少し広報を充実させていくことで解決できる部分も多いのではないかと感じます。

例えばごみについて、とても興味のある方と全く興味がない方と2つに分けたときに、現状はとても興味がある方にとってまだまだ広報内容が弱いと思います。興味のある方に向けて、ごみの分け方・出し方カレンダーに細かな分別方法など、より詳しい内容が分かるよう発信すると良いと思います。興味のない方に向けては、新しい媒体の開発も含めて、広く浅く発信していくことが良いと思います。

【山岸委員】ごみの分け方・出し方カレンダー内の「ごみ量を記録してみませんか」について、取り組んだ人に対して、ごみ袋を何枚か配布する等のインセンティブがあると良いと思います。

【楠田委員】「ごみ量を記録してみませんか」について、面白い試みであると思いました。電力や水道でもスマートメーターのように、個別の現場ベースで量や内容を把握できるような仕組みがありますが、ごみの分野でもこのようなことを実践することは大変面白い試みであり、評価できると思います。自分が実施する場合に1つ気になる点があります。それは、ごみの重さを記録することです。一体どれだけの人が、グラムという重さの単位を書けるかが疑問に思いました。

【北委員】ごみの分け方・出し方カレンダーの内容編集について、スケジュールを教えてください。

【事務局】4月から来年の3月までの年度ごとに載せている資料のため、印刷と校正などの都合上、年内にはある程度内容を固めています。

【北委員】市民の声を反映させられるような仕組みがあると良いと思います。例えば、カレンダーに載せる場合、10月頃までに市民からアイデアを募集し、市民の声を掲載するような制度ができるとより良いと思います。

【内海委員】カレンダーの最後のページにご意見募集しますというようなフォーマットがあると良いと思います。市民の声に対して、フィードバックする組織や仕組みがあれば良いと思います。

【山谷会長】基本計画を策定するというようなときにパブリックコメントを実施することが一般的に行われています。

【山岸委員】市長へのポストみたいなものが市役所にあります。ごみ関係の内容であればごみ減量課へ届くのでしょうか。

【事務局】そうです。

【田中委員】消費者連絡会からの依頼で、市長が来てくれるようなことがあったようです。それだけでなく、市民の声を広く聞いてほしいということで、2年がかりで公民館と市役所に設置することになったと思います。

【山岸委員】「ごみ量を記録してみませんか」のページはどうして掲載することになったのでしょうか。

【事務局】ごみ問題審議会において、皆さまからのご意見を頂いたので作成しました。

【北委員】うまく記入している人の実践例を見ることが出来ればより良くなると思います。

【山谷会長】審議会の評価としては、一般市民に直接訴求することを目指した駅頭キャンペーン、駅頭啓発活動、分別啓発活動は国立市独特な意識啓発のアプローチとして評価できる。また、「ごみ量を記録してみませんか」について、各家庭のごみ排出状況の見える化をすることは、興味深い試みとして評価できる。市民が参加しやすいように、もっと簡略化するなどの工夫を凝らしてほしいというようなどころでいかがでしょうか。

【山谷会長】②集団回収の充実について、ご意見をお願いします。

R2、R3と回収量が減っていることは、コロナの影響かと思います。深刻なのは、実施団体がかなり減っているということでしょうか。コロナによる自粛の影響がここで出ているのかもしれませんが。

【北委員】集団回収と行政回収のメリット、デメリットや違いを教えてください。

【山谷会長】一般的には、集団回収は行政回収よりもコストが安くつくということ、コミュニティの醸成に寄与することがよく言われます。また、集団回収で持ち込まれる資源物の品質は、行政回収よりもきちんと分別されていて良いということも聞くことがあります。

【北委員】集団回収があることを知りませんでした。もしメリットがあるならば、どうやったら知ることができるのだろうかと思いました。ごみカレンダーに基づいて資源物を出すということしか知らない人がいると思います。

【山谷会長】排出機会を増やすということも一つのメリットです。そのためには登録団体を増やさないとはいけません。民間回収について以前と変化しているところがあります。例えば新聞販売店は、ほとんど全ての販売店が自ら回収し、トイレットペーパー等をプレゼントしています。そのため、そちらのほうに出すという方が増えたため、集団回収量が減っている1つの要因になっているかもしれません。主要な新聞等の古紙の排出ルートは、行政による回収、自治会等による集団回収、新聞販売店による回収の3つがあります。自治会等による集団回収は、市役所から紹介を受けた登録業者と自治会等が直接契約をして引き取ってもらいます。その際に、市から1キロ当たり幾らという奨励金をもらうことができます。新聞販売店による回収について、新聞を配る人が、配達後、集めるという形もごく一部にはありますが、一般的には古紙回収業者に購読者の情報を渡して、その購読者のところに回収袋を配布し、購読者は何日に回収しますというお知らせを玄関先に出してもらいます。その後回収し、お礼にトイレットペーパーを何個か置いていくという形です。この場合は行政からの補助金は受けていません。

【山岸委員】鉄くずなど集めて売る人もいますが、行政は収集の手間が省けるが収入が減るのでしょうか。行政が回収しなければ、お金にならないものなどの悪いものばかりが行政回収になるという考え方もできるのですね。

【山谷会長】特にアルミのものは、自分で回収業者のところへ持っていき、あまりお金にならないスチール缶などは集団回収とか行政回収のほうに出すということもあるかもしれません。

【内海委員】集団回収の品目は決まりがあるのでしょうか。私が住んでいるところは、新聞紙を出すとトイレットペーパーがもらえますが、布を出しても何ももらえません。先日、布の回収量が少ない

ため集団回収で布の回収はやめますと連絡がありました。

【山谷会長】 集団回収で、何かその見返りに直接もらえるということは無いです。団体に対してお金が入ります。そのお金は団体が、協力してくれる人たちとか町内会の人たちに何らかの形の還元をしているかと思います。どういう活動に還元するかについては、行政のほうで縛りはかけていません。

【事務局】 集団回収の対象品目については全部決まっています、自由に設定は出来ません。

【山谷会長】 審議会評価としては、集団回収登録団体数の増加に向けて、集合住宅等への働きかけを強化してほしいという評価でいかがでしょうか。

【内海委員】 情報提供ですが、生協が自社カタログを回収するようになったそうです。

【山谷会長】 ③廃食用油回収の推進について、ご意見をお願いします。

【山岸委員】 この項目は維持することが良いのでしょうか。それとも1,000リットルぐらいあった2017年程度まで増やすことが理想なのでしょうか。

【山谷会長】 どのくらいという具体的な量というのはなかなか言いにくいところかと思いますが。拠点回収の制度を実施しているため4桁くらいに乗ると良いと思います。

【内海委員】 廃食用油をいつ、どこで回収しているのかをもっと広報してほしいです。富士見台第一団地内で拠点回収していることを知らない人が多いと思います。

【山岸委員】 市役所内でも実施しているのでしょうか。

【事務局】 市役所内は随時受け付けています。油の入った容器のまま預かります。

【北村委員】 回収した廃食用油がどんなものにリサイクルされているのかというのも具体的に見える方が良いと思います。

【内海委員】 エコショップに拠点回収の協力をさせていただくのはいかがでしょうか。

【北委員】 回収容器を設置して油を入れるのは、お店側が嫌がるのではないかと思います。容器のまま回収するのであれば協力していただけるかもしれないと思います。その場合は、出す側が毎回容器を用意しないといけないため、それならば固めて可燃ごみに入れたほうが、容器の分も考えたら良いなとなり、結構難しいと思います。岡山県では、廃食油でごみ収集車を走らせるというプロジェクトがあります。廃食用油の回収した後の使い方が分かると、拠点回収に協力しやすいと思います。

【山谷会長】 練馬区が廃食用油を回収して、製油装置を設置された区のリサイクルセンターで燃料を生成し、ごみ収集車で使用しているという事例があります。

【事務局】 国立市が回収した廃食用油は、以前はインクの原料になっていました。現在は問屋に渡したその先は把握できていません。

【山谷会長】 審議会の評価としては、廃食用油の拠点回収について周知徹底をするとともに、リサイクルルートについても広報を強化してほしいという評価でいかがでしょうか。

【山谷会長】 ④生ごみや紙おむつの再資源化の検討について、ご意見をお願いします。

【山岸委員】 本項目について再資源化の目途は立っているのでしょうか。

【山谷会長】 これから再資源化の検討をしていくということです。

【北委員】 現状どれぐらいアイデアがあるのでしょうか。

【山谷会長】 西東京市や小平市では、数世帯以上のグループで一緒に生ごみ回収専用バケツに入れて収集しています。回収した生ごみは資源化（堆肥化）をしています。他市にある資源化施設で堆肥化

された堆肥化物を、リサイクルフェアなどのリサイクル関係のお祭りで配布することや、その堆肥を使用して育てた野菜を使用して、屋台で食べ物を提供することもあるようです。生ごみの全量ではないですが一部を循環させているということです。

【北委員】ミニキューロと同様に、本事業に参加できない家庭も多いと思うので、できない家庭に対しては、集団回収を案内すると効果があると思います。

【内海委員】これらが項目化されたことがとてもうれしく思います。生ごみと紙おむつは項目を分けてはいかがでしょうか。生ごみについて、まだ再資源化の実績はありませんが、これまでに様々検討されてきたことがあると思いますので、それらは実績として書き込まれても良いと思います。国立市としての方向性を前面に出してほしいと思います。

【事務局】生ごみの再資源化について、具体的に進めていて今年度からモデルケースとして開始する予定です。紙おむつの資源化についても、生ごみと同様に可燃ごみを減らすというところでまとめて検討していきます。

【山谷会長】紙おむつの資源化について、九州のほうで建材などにリサイクルしているという事例があります。島根県ではRDF、燃料化、ボイラーを焚く燃料する取組を行っています。採算の都合上、介護施設で使っているもの等の事業系ごみをリサイクルするというようなところから始め、そこに自治体の分別した紙おむつを持ち込むような形のようにです。

審議会の評価としては、多摩地域他市などの先進的な取組を参考にして、生ごみや紙おむつの資源化の調査研究を進めてほしいというような評価でいかがでしょうか。

資料に基づき、国立市循環型社会形成推進基本計画に基づく進捗状況（2021（令和3）年度実績）の行政による評価の（2）事業系ごみの減量化・資源化について事務局から説明した。

【山谷会長】①事業系ごみの手数料の適正化について、ご意見をお願いします。

【山岸委員】他市が手数料を上げてきたため、国立市も合わせて上げたということでしょうか。

【山谷会長】多摩川衛生組合の構成市は42円という水準でしたが、国立市だけがかかなり安かったという状況でした。国立市は令和2年に値上げをし、事業系の搬入手数料については水準の適正化をすることが出来ました。事業系ごみの搬入手数料を値上げしたことで事業系ごみも大きく減っているという成果も出ているという状況です。

【山岸委員】今までは公費でやっていたということでしょうか。

【山谷会長】そういうことです。今までは税金負担があったということが問題の1つです。それから、他市が高い手数料で国立市が安かったため、他市からの事業系ごみの流入があったかもしれません。

【北村委員】手数料が上がったことによって、ごみが減ったということもあるのでしょうか。

【山谷会長】それが一番大きいかと思います。他市のごみが排除されたという部分も少しはあると思います。手数料が適正な水準になったことにより、どういうメリットがあるのかというのが一番重要です。分別をして資源化に回すことで、焼却施設への搬入は出来るだけ少なくしようとする。これまで焼却されていたごみが、資源化され、企業としての社会的責任をきちんと果たそうというふうに排出事業者の意識が変わるといって、ここが一番重要なところだと思います。

審議会の評価としては、事業系ごみ処理手数料は、焼却処理と最終処分の処理原価に近い水準に設

定されており、妥当と認める、認めるというのはあれですけど、妥当と評価するというところでいかがでしょうか。

【山谷会長】②啓発・指導の推進について、ご意見をお願いします。

【山岸委員】国立市内にあるスーパーが対象でしょうか。

【山谷会長】そうです。多量排出事業者数及び訪問調査件数が2021年からとても増えていることは評価できます。多量排出事業所に対する指導がきちんと強化されたということかと思います。

【事務局】今まではあまり調査や事業者と直接お話する機会を持てずにいました。他市では事業所とのネットワークや関係を構築されているところもありますので、参考としながら、私たちも少しずつ多量排出事業所と関係性を作っていきたいと思います。また、調査の頻度については、年1回や2年に1回にするか、相手方の取り組み内容等をみながら、こちらで調整していきたいと思います。

【山谷会長】審議会の評価としては、多量排出事業者に対する指導や助言を継続し、少量排出事業者に対する啓発にも引き続き取り組んでほしいという評価でいかがでしょうか。

【山谷会長】③減量化・資源化の促進について、ご意見をお願いします。

【山岸委員】実績について、ホームページで紙ごみのリサイクルの促進を呼びかけたとありますが、具体的には市のホームページのことでしょうか。

【事務局】国立市のホームページ上で、市内の事業者の方、市民の皆さまに向けて、紙ごみのリサイクル、分別をお願いしますというような形でご案内したという意味です。

【北委員】別の報告書などでは、事業系ごみのうち可燃ごみの比率は出ているのでしょうか。

【山谷会長】約2割程度かと思います。多摩地域では大体2割程度が多いですね。小平市は1割程度でした。これは非常に少ないケースだと思います。事業所があまりなく、住宅地が多いためかと思います。

審議会の評価としては、訪問調査の機会を捉えて、厨芥類資源化のメリットを説明し、リサイクルルートに乗せるよう、排出事業者に働きかけてほしいという評価でいかがでしょうか。

【山谷会長】④市管理施設での減量施策の強化について、ご意見をお願いします。

【内海委員】マイコップ持参の自動販売機の設置推奨とありますが、そのような自販機があるのでしょうか。有料でしょうか。

【北委員】容器を持参し、100円入れたら水何リットルを給水できるというようなものかと思います。

【山谷会長】市役所内にある給水器は、職員の方が利用されているという話は前回ありました。

【事務局】市役所内には、足で踏んで水が出るウォータークーラーが設置されています。

【北委員】市管理施設での減量施策で成功した取り組み例などを各大規模事業者に共有することが良いと思います。また、その取り組みについてホームページ等で公表してほしいと思います。現状で、そのような取組や実施したことをアピールしているというのはありますか。

【山谷会長】例えば町田市などは3R賞というような賞を設けて、排出事業者でこういう資源化の取り組みを行っている、こういう減量を実現しているというような好取組事例をホームページで写真つきで紹介をしています。国立市では2、3年前から事業系ごみの減量対策にも本格的に着手しています。まだ始めたばかりですので、この先はぜひ好取組事例を発掘して、これを他の事業者に共有化し

ていただければと思います。

【内海委員】市役所の事例をごみの分け方・出し方カレンダーの最後に載せたら良いと思います。

【山谷会長】審議会の評価としては、庁内にごみ減量対策のための組織を設け、各施設での減量目標の設定やごみ減量チェックリストの作成と実施状況の確認などを行ってほしいという評価でいかがでしょうか。

副会長職について

今期は、山崎委員と楠田委員の2名体制で行うこととなった。

2. その他

(1) 日程について

第4回は令和4年10月11日（火曜日）15時から行うこととした。

— 了 —